

令和3年度逢瀬川堤防建設及び内水対策合同説明会の際に寄せられた質問に対する回答

令和3年度逢瀬川堤防建設内水対策合同説明会（令和3年11月13日開催）に参加された方々からお寄せ頂きました質問について回答します。なお、今回掲載した質問は、説明会当日に質問用紙により寄せられたものであり、説明会進行中に口頭にて質問のあったものについては、別途回答する予定です。

記

質問1「現状確保している水害対策予算はどの位か。対策予算の推移についてグラフで示してほしい。」

回答1-1<国土交通省>

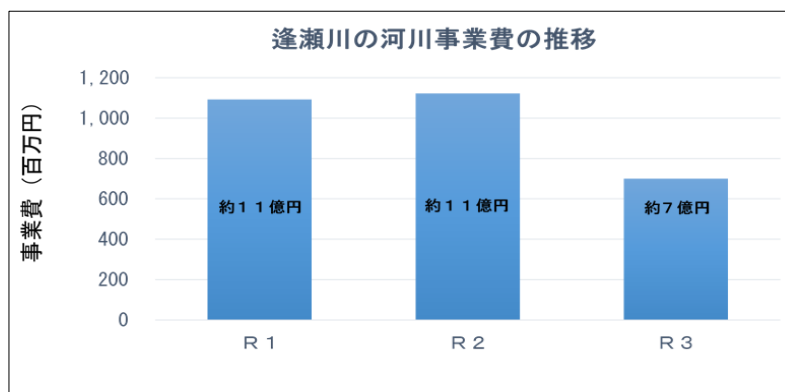
令和元年東日本台風への対策としてこれまでに配分されている国の予算については、福島県における阿武隈川上流河川大規模災害関連事業として、令和元年度補正で約40億円、令和2年度補正で約94億円、令和3年度補正で約56億円が配分されているところです。

詳細や予算の推移などについては、東北地方整備局のホームページをご覧ください。

<https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/yosangaiyou/top.html>

回答1-2<福島県>

福島県が実施している逢瀬川の水害対策予算の推移については以下のとおりです。



質問2「工事進捗を一ヶ月単位でいいので公開してほしい。ホームページで見られると助かります。」

回答2-1<国土交通省>

阿武隈川（福島）の進捗状況については、適宜、福島河川国道事務所のホームページで公表しています。

回答2-2<福島県>

工事進捗状況などをよりこまめにお知らせするため、事務所ホームページや回覧板などにより、随時お知らせしていく予定です。

質問3「大窪橋から咲田橋の右岸のガードレールの取り付けを早急をお願いします」

回答3<福島県>

堤防工事に合わせてガードレールの設置を進めており、市道を供用するまでに完了予定です。

質問4 「堤防、咲田橋、道路が高くなった時、低い土地に建っている家に大雨が降ったら水が流れ込まないのか。」

回答4 <福島県>

河川堤防の宅地側の法面に降った雨は堤防の下側に設置する側溝により排水します。
なお異常な豪雨などが発生した場合は、宅地内に水が流れ込む可能性はあります。

質問5 「咲田橋より上流を先行して川幅を広げたり堤防工事をしたりと、下流地域にとって危険ではありませんか。」

回答5 <福島県>

咲田橋付近の河道は今後橋梁架替えを実施するため広げていませんが、咲田橋下流部の川幅を広げて流下能力を向上させることで安全度を高めています。なお、咲田橋架替え工事完了までは、現在設置している仮設大型土のうのほか、緊急時の市道通行止め及び土のう締め切りにより越水対策を講じます。

質問6① 「富田観測所では下流の水の状況が分かりません。咲田橋が新しくなった時にカメラ観測するものをつけてほしい。」

② 「富田観測所の情報は逢瀬川下流地域と誤差がありすぎると思う。開成山樋門は多くの内水が流れてくるため、新咲田橋には観測所と川の様子を見られるカメラの設置を希望します。」

回答6 <福島県>

現在、旧国道4号の逢瀬川にかかる逢瀬橋に水位観測及びカメラが設置されていることから、近隣の咲田橋への設置は今のところ予定はありません。なお、逢瀬橋の水位観測等はインターネットで「川の水位情報」で検索して頂ければ確認できます。

質問7 「県道の掃除頻度について。排水溝が落ち葉や泥で詰まって水が溜まってしまう。掃除をしているという話だが月何回くらい掃除しているのか。」

回答7 <福島県>

県が管理している側溝の清掃については、郡山市内で道路の管理延長が350kmあり、定期的に清掃が出来る状況にありません。地域住民の皆様の清掃活動へのご協力をお願いします。

質問8 「開成山排水樋門から流れてくる水。逢瀬川が一杯なのに門が閉まらないのはなぜか。閉めないのなら作る必要があるのか。」

回答8 <郡山市>

樋門を閉める状況は、河川から水路に逆流現象が認められた時や、維持管理業務の中で必要な時に閉めることとなります。

質問9 「越水が起きても開成山樋門を閉めない理由は。多くの内水が排水されるのだから雨水貯留施設がモール周辺に必要ではありませんか。(場所選びも逢瀬川地域住民の声を聞いてください)」

回答9 <郡山市>

令和元年東日本台風の際、開成山樋門において、逆流現象が認められなかったため、閉めることはありませんでした。水路から河川へ水が流入していれば内水被害軽減のため樋門を開けた状態で排水を継続します。河川から水路に逆流現象が確認された際は樋門を閉めることとなります。11月13日(土)開催の令和3年度逢瀬川堤防建設及び内水対策合同説明会の福島県作成資料13ページにあるように、令和元年東日本台風時の逢瀬川の流量は、河川整備計画の目標流量520m³/秒を下回っています。現在、県で進めている逢瀬川の改修は、下水道整備地区に降った雨水(内水)の排水量に対応したものとなっているため、河川水位の低下を目的とした雨水貯留施設を新規に整備する計画は現時点ではありません。